

解答プリント「中学社会・地理的分野」

■発展プリント

単元:4 北アメリカ州／南アメリカ州

【評価の観点】 ㊦：思考・判断・表現 ㊧：技能 ㊨：知識・理解

解答例	解説
<p>㊦ (1) イ</p> <p>㊧ (2) エ</p> <p>㊨ (3) ア, エ</p>	<p>㊦ (1) グレートプレーンズはロッキー山脈の東側に広がる台地上の広大な平原。グレートプレーンズの東側からミシシッピ川の西にかけて広がる草原がプレーリー。ミシシッピ川流域に広がる平原が中央平原。グレートプレーンズ、プレーリー、中央平原ともにそれぞれが重なる部分があり、明確に区別されているわけではない。</p> <p>(2) 米は生産量が多い順に中国、インド、インドネシア、バングラデシュ。とうもろこしは生産量が多い順にアメリカ合衆国、中国、ブラジル、アルゼンチン。大豆は生産量が多い順にアメリカ合衆国、ブラジル、アルゼンチン、中国。生産量が世界第1位の中国、第2位のインドが輸出量の上位に入っていないのは、生産した小麦のほとんどを国内で消費してしまうからである。</p> <p>(3) 先端技術産業はコンピューター・バイオテクノロジー・ロケットなど高度な技術を中心として製品を製造する産業で、超L S I、ファインセラミック、レーザー加工などもふくまれる。</p>
<p>㊦ (1) キトはマナオスに比べ標高の高い場所に位置している。(25字)</p> <p>㊧ (2) a－開発 b－熱帯</p>	<p>㊦ (1) エクアドルの首都であるキトはアンデス山中の標高2850mに位置し、ブラジルのアマゾン川中流域に位置するマナオスの標高は92mであるため、両都市の標高差は約2760mある。高度による気温差は、高度が100m上昇するごとに平均0.5～0.6℃下がるため、標高差が約2760mということは、気温にしておよそ14℃～17℃異なることになる。そのため、キトの平均気温は赤道直下に位置しながら13.7℃と一年を通して冷涼な気候となっている。</p> <p>(2) アマゾン川流域に広がる熱帯林は、平均して年間約20000 km²減少している、その結果、アマゾンの熱帯林は4,100,000 km²だったものが2005年には3,403,000 km²まで減少した。伐採された熱帯林の多くは牛の放牧地とされたり、牛のえさとなる大豆畑となっている。熱帯林は生物の宝庫であるだけでなく、酸素の供給源でもあるため、アマゾンの熱帯林の減少は、ブラジルだけでなく、人類共通の深刻な問題といえる。</p>